



市議会ホームページ

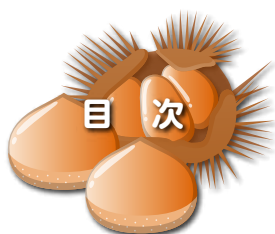


市議会公式Facebook

<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>

<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

新たな16人の市民の代表



補正予算の概要	2	代表・一般質問	6～12
議長・副議長就任挨拶	2	委員会報告	13
審議経過、特別委員会の設置等	3	会務報告	13～14
議長交際費	3	次回議会日程	14
審議議案・議員別賛否状況	4	編集後記	14
議員構成	5		

「議会報告会2022～議員と語ろう みらいトーク!～」開催のお知らせ

事前申し込みは必要ありませんので、どうぞお気軽にお越しください。

- 日時 令和4年11月25日（金）午後7時～午後8時30分
- 場所 市民交流プラザ 多目的ホール
- 内容 ①議会からの報告 ②ワークショップ形式での意見交換（テーマ：少子化対策について）

一般会計補正予算・条例改正など11議案を議決しました

9月6日に臨時会を、9月9日から26日までの18日間を会期として9月定例会を開会しました。9月臨時会では、人事案件1議案、9月定例会では、令和4年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正など議案10件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。なお、令和3年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び令和3年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など8議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査とすることになりました。その他、健全化判断比率など報告2件を受けたほか、議員派遣を可決しました。

◎ 9月補正予算の概要

議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

補正額 9億7,542.4万円 累計予算額 145億5,527.2万円

《主な事業》

- 情報管理費 4,916.8万円
ホームページシステムの構築及びファイル変換システムの導入にかかるもの
- 児童福祉対策費 462.1万円
子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業の拡充
- 畜産振興費 1,142万円
飼料価格高騰の影響を受けている市内畜産事業者に対する支援金の支給
- 小学校管理運営費及び中学校管理運営費 286.6万円
3密を回避するために必要となるバスの増車費用に対する助成
- 学校給食センター管理運営費 937.3万円
コロナ禍における学校給食の食材費高騰に対する助成

議案第34号 令和4年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 5,134.1万円 累計予算額 30億324.1万円

《主な内容》 決算の確定に伴う財政調整基金積立金の増額

議案第35号 令和4年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 556.9万円 累計予算額 9億3,526.9万円

《主な内容》 決算の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

議長 就任 あいさつ 副議長 就任 あいさつ



議長（第54代）

よしうら
義浦 英昭
ひであき



副議長（第59代）

やまむら
山室 秀隆
ひでたか

このたび、令和4年9月議会におきまして、議員の推挙により、小矢部市議会議長並びに副議長に就任させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、国際情勢の緊迫化等による原油価格や物価の高騰など、市民生活や地域経済にとって、依然として厳しい状況が続いております。このような時こそ、市民の皆様の声に耳を傾けながら、市民生活の向上と地域経済の回復に向けた取り組みを迅速かつ的確に推進するとともに、かねてより本市が取り組むべき様々な課題の解決に向けて議論を尽くし、市民の皆様が安心して暮らすことができる、持続可能なまちづくりに努めていくことが、私たち議員の責務であると考えております。

議会の果たすべき役割を十分認識し、本市の未来をより明るくするために、最善の努力を尽くす決意でございます。市民の皆様方には、これからもご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長・副議長就任のあいさついたします。

9月臨時会の 審議経過

6日 本会議

(会期1日間)

9月定例会の 審議経過

9日 本会議(提案理由説明)

(会期18日間)

全員協議会

12日 議案調査日

13日 議案調査日

14日 議案調査日

15日 議案調査委員会

16日 本会議(代表・一般質問)

20日 総合計画特別委員会

民生文教常任委員会

21日 交通観光特別委員会

総務産業建設常任委員会

22日 決算特別委員会

26日 議案運営委員会

委員長会議

全員協議会

本会議(質疑・討論・表決他)

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

総合計画特別委員会

総合計画に関して必要な事項の審査を行うため設置しました。(委員8名)

交通観光特別委員会

交通観光に関して必要な事項の審査を行うため設置しました。(委員7名)

決算特別委員会

令和3年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など8議案を審査するため設置しました。(委員11名)

永年勤続議員表彰

小矢部市議会議員表彰内規に基づき、本定例会で次の方を表彰しました。

◎議員在職二十年以上表彰

嶋田 幸恵 議員

人事案件

◎小矢部市監査委員の選任同意

藤本 雅明 氏(西町)

◎小矢部市教育委員会委員の任命同意

前田 智嗣 氏(芹川)

◎小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

石畠 益郎 氏(興法寺)

◎人権擁護委員の候補者の推薦

荒井 勇 氏(法楽寺)

中島 正平 氏(末友)

古村 直美 氏(西町)

◎選挙管理委員及び補充員の選挙
選挙管理委員

掛作 芳昭 氏(中央町)

三輪 秀秋 氏(津沢一丁目)

中田 幸男 氏(松尾)

居島 啓二 氏(石王丸)

補充員

宮田 安子 氏(和沢)

多田 一夫 氏(渋江)

高橋 孝志 氏(水島)

稲原 勉 氏(観音町)

令和4年度 議長交際費支出内訳表

令和4年4月～令和4年9月 (単位：円)

区分	件数	金額	
1 慶弔・見舞費	16	206,385	
① 御祝・寸志	4	65,610	祝賀会、記念行事、大会祝い金等
② 激励金	6	74,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典	6	66,775	香典、生花等
2 協賛費	2	5,675	各種協賛費等
3 会費・懇談会費	7	51,039	各種団体との会議、懇親会費等
4 その他	16	116,174	訪問時・来客時記念品、お土産等
合計	41	379,273	
令和4年度予算額		1,000,000	
執行率		37.93%	

※小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

ライブ配信(議会中継)のお知らせ

小矢部市議会では、より多くの皆さんに定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、YouTubeでの録画配信に加えて、令和4年6月からライブ配信(議会中継)を実施しています。小矢部市議会のYouTubeページからぜひご覧ください。



9月定例会・臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	山田	石間	上田	林	竹松	谷口	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田
			吉晴	庄二	由美子	登	豊一	巧	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵
補正予算	議案第 33 号	令和 4 年度小矢部市一般会計補正予算 (第 2 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 34 号	令和 4 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 35 号	令和 4 年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 1 号) (補正予算の概要は 2 ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	議案第 36 号	小矢部市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について ・地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業の取得回数制限の緩和等に関し、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議 長 は 表 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第 3 号	小矢部市監査委員の選任同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○
	同意第 4 号	小矢部市教育委員会委員の任命同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第 5 号	小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦について (人事案件の概要は 3 ページを参照ください)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第 4 号	小矢部市議会会議規則の一部改正について ・議会だより編集委員会を拡充し、名称を広報広聴委員会に変更するとともに、全議員にてその協議に当たるため所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会で継続審査とされた議案

その他	議案第 37 号	令和 3 年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第 32 条第 2 項及び第 3 項の規定により、剰余金の処分を行うもの。
決算認定	認定第 1 号	令和 3 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第 2 号	令和 3 年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第 3 号	令和 3 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第 4 号	令和 3 年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第 5 号	令和 3 年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第 6 号	令和 3 年度小矢部市水道事業会計決算
	認定第 7 号	令和 3 年度小矢部市下水道事業会計決算

9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第 4 号	健全化判断比率の報告について
	報告第 5 号	資金不足比率の報告について

議 会 議 員 構 成

議 長	義 浦 英 昭	副 議 長	山 室 秀 隆
総務産業建設常任委員会委員	委員長 谷口 巧 委員 上田由美子 福島 正力	副委員長 石間 庄二 山室 秀隆 中田 正樹	吉田 康弘 白井 中
民生文教常任委員会委員	委員長 竹松 豊一 委員 林 登 石田 義弘	副委員長 山田 吉晴 加藤 幸雄 嶋田 幸恵	義浦 英昭 藤本 雅明
議会運営委員会委員	委員長 福島 正力 委員 林 登 義浦 英昭 (オブザーバー)	副委員長 吉田 康弘 竹松 豊一	谷口 巧 藤本 雅明
総合計画特別委員会委員	委員長 福島 正力 委員 石間 庄二 藤本 雅明	副委員長 加藤 幸雄 上田由美子 嶋田 幸恵	林 登 竹松 豊一
交通観光特別委員会委員	委員長 吉田 康弘 委員 山田 吉晴 石田 義弘	副委員長 山室 秀隆 谷口 巧	白井 中 中田 正樹
決算特別委員会委員	委員長 加藤 幸雄 委員 山田 吉晴 竹松 豊一 嶋田 幸恵	副委員長 谷口 巧 石間 庄二 白井 中	上田由美子 林 登 中田 正樹 石田 義弘
広報広聴委員会委員	委員長 山室 秀隆 委員 山田 吉晴 谷口 巧 藤本 雅明 石田 義弘	副委員長 林 登 石間 庄二 加藤 幸雄 白井 中 嶋田 幸恵	上田由美子 竹松 豊一 義浦 英昭 吉田 康弘 福島 正力 中田 正樹

議 会 選 出 委 員 等

監 査 委 員	藤本雅明
小矢部川中流水害予防組合議会議員	竹松豊一 谷口 巧 白井 中
砺波地方衛生施設組合議会議員	林 登 加藤幸雄 吉田康弘
砺波地方介護保険組合議会議員	山室秀隆 加藤幸雄 藤本雅明 嶋田幸恵
砺波地域消防組合議会議員	義浦英昭 福島正力 中田正樹 石田義弘
高岡地区広域圏事務組合議会議員	山室秀隆 白井 中 福島正力
民生委員推薦会委員	竹松豊一 山室秀隆
国民健康保険運営協議会委員	上田由美子 石田義弘 嶋田幸恵
上水道審議会委員	山室秀隆 加藤幸雄 福島正力
公害対策審議会委員	山田吉晴 谷口 巧 山室秀隆
都市計画審議会委員	石間庄二 竹松豊一 谷口 巧 吉田康弘 藤本雅明
交通安全対策協議会委員	山室秀隆
ケーブルテレビ放送番組審議会委員	義浦英昭
小矢部市土地開発公社理事	山田吉晴 石間庄二 谷口 巧
公益財団法人クロスランドおやべ理事	林 登 竹松豊一 白井 中

令和4年9月26日現在



会派「新政」
福島 正力 議員



▼動画配信中

- ◎市長の4期目の総括と5期目の抱負について
- ◎姉妹都市沼田町職員と小矢部市職員との人事交流について
- ◎稲葉山牧野の今後の在り方について

質問 市長の4期目の総括と5期目の抱負について問う。

市長 1期目は合併しなかった小矢部市ということと直面する厳しい財政状況を改善するべく、まずは財政改革に取り組んだ。2期目に入り、平成24年には、市制施行50周年という大きな節目の年を市民の皆様方と一緒に祝いをさせていた。3期目の平成27年7月には、足かけ9年、誘致活動に取り組んできたアウトレットモールがオープンし、随分とにぎわいも創出できたと思っている。

4期目は、石動駅周辺整備事業に着手した。小矢部市は富山県の西の玄関口の役割を担っており、石動駅の拠点性を高め、さらには二次交通網の整備にもしつかり取り組んでいくことこそが、西の玄関口の存在感を高めるものと確信している。

次なる5期目の抱負は、小矢部市第7次総合計画に掲げている将来像「魅力・安心・充実しあわせ おやべ」の実現に向け、行政と社会のデジタル化を

進めて住民サービスを向上させ、「人に寄り添い温もりのある社会」を目指していく所存である。

質問 市長はタウンミーティングにおいて最重要課題である少子化対策の支援を充実していくと述べられているが、どのような支援を考えているのか。

市長 今の小矢部市で効果的な少子化対策は何かと考えた時、出生率向上のため、3本の柱を打ち立ててしっかりと取り組んでいく必要があると思っている。

1本目の柱は、結婚する意思はあるが出会いの機会に恵まれな人への支援する「婚活支援」、2本目の柱は、出産を希望しているものの妊娠に結びつかない人への支援する「不妊治療・不育症治療などのライフプラン」、3本目の柱は、結婚して出産を予定している人（主に共働きの世帯）を支援する「仕事と育児の両立支援」である。この3本柱に真正面に取り組むことが肝要であると考えているが、中でも大事なものは仕事と育児の両立支援だと思っている。その中の

一つ目の施策として、子供医療費の18歳までの無料化を実施することを公約として挙げている。

質問 本市の姉妹都市である北海道沼田町の職員と本市職員との人事交流について問う。

市長 沼田町との人事交流には、幅広い視野を培うだけでなく、沼田町開拓の祖である沼田喜三郎翁を縁としたお互いの地域の歴史を理解し合い、お互いが切磋琢磨していく上でも非常に有益であると考えている。人事交流は、相手の話なので、沼田町から賛同が得られるのであれば、前向きに検討していきたい。

質問 稲葉山牧野における配合飼料価格高騰対策について問う。

市長 稲葉山牧野は公営牧場であることから、地方創生臨時交付金の支援の対象とならない。この状況を踏まえ、今年度の重点要望で、基幹牧場としての安定経営に対する支援の拡充についても要望をしたところであり、今後あらゆる機会を捉えて、しっかりと要望していきたい。

質問 基幹牧場経営対策事業費補助について問う。

市長 この事業において市有牛である肉用牛を対象とすることは困難と認識している。経営安定化に向けて、新たな補助制度の拡充や預託牛に対する補助金単価の増額などを要望していきたい。

質問 稲葉山中長期ビジョン計画策定後の状況について問う。

市長 既存の施設規模における肉用牛の飼育頭数、出荷頭数は現在がピークであるが、老朽化施設の更新及び効率経営に向けた集約化について、公共牧場機能強化等体制整備事業を活用して令和5年度までに施設整備等に取り組むことは困難であると考えている。今後は総合計画等も踏まえ、この事業に代わる補助事業等を調査研究し、今後の在り方についても検討するなど、稲葉山牧野の経営安定に努めたい。



稲葉山牧野

- ◎桜井市長の4期16年間の総括と5期目の公約について
- ◎新型コロナウイルス感染症への対応について
- ◎地方創生臨時交付金について
- ◎デジタル化について
- ◎共創のまちづくりについて

林 登 議員
 会派「未来共創」



質問 5期目へ向けた公約について問う。

市長 小矢部市第7次総合計画に掲げている将来像「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現に向け、行政と社会のデジタル化を進めて、住民サービスを向上させ、「人に寄り添い温もりのある社会」を目指す。

質問 地方創生臨時交付金の使途、さらにそれらによって得られた成果、経済効果を問う。

市長 これまでに約12億円の地方創生臨時交付金を計上し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民、事業者への支援やアフターコロナに向けた経済構造の転換などに取り組んでいる。

主な使途として、光ファイバ整備事業に約3億9千万円、GIGAスクール環境整備費などに約1億8千万円、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業者、農業者、子育て世帯やひとり親世帯等に向けた支援事業に約2億5千万円、また、地域経済の下支えとして実

施したプレミアム付商品券発行事業などに約1億2千万円、その他新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費に約2億6千万円を活用し、本市の実情に応じたきめ細かな対策に取り組んできた。

それらの事業によって得られた成果等については、市内事業者や農業者に対する絶え間ない支援や、過去5回にわたるプレミアム付商品券発行事業の実施により、結果として、令和3年度予算において減収を見込んでいた市民税が大きく落ち込むことなく、市民生活及び地域経済の下支えを行うことができた。

また、市内電話の69局エリアに光ファイバを整備したことにより、市内全域で高速通信環境を整えるとともに、市内全小中学生に1人1台のタブレット端末を前倒しして配置し、GIGAスクール構想に対応した教育環境整備を実現することができた。さらに、市内公共施設における感染対策や市内事業者における感染対策支援等を通じて、本市

の感染者割合が県内でも低い水準を維持できたことが最も大きな成果である。

質問 具体的な経済効果はどの程度であったか。

市長 プレミアム付商品券の発行事業の成果として、約4.3倍の消費喚起を促すことができた。単純経済効果で5億8千500万円の効果があつた。

質問 補正予算案において、情報管理費としてホームページ構築費1千699万5千円が計上されている。このシステム構築を間違つと大変使にくいものになってしまうと危惧をしている。このシステム構築を進める上での方向性を問う。

市長 近年、市民が来庁せずオンラインにて行政手続等を行える環境を整備することが重要視されている。また、インターネット環境におけるセキュリティ対策も重要な課題となっている。本市公式ホームページ等の再構築に当たっては、行政手続等のオンライン化への対応やより一層のセキュリティ強化

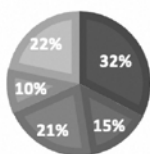
ユーザビリティ（使い勝手）に十分に配慮することで、誰でも使いやすく安全に利用できるホームページを目指していく。

質問 近年では共創推進の指針を明示したり、共創を担当する部署を設置したりと共創のまちづくりに取り組んでいる市町村も多い。「共創」という新しい概念の下、新しいまちづくりの進め方を実践してはどうか。

市長 市民ニーズや地域の抱える課題がさらに多様化・複雑化していくことも予想されるので、今後は「共創」についても、その手法や進め方をしっかりと研究していきたい。

地方創生臨時交付金12億円の使途

- 光ファイバー整備 約3億9,000万円
- GIGAスクール環境整備 約1億8,000万円
- 事業者・農業者・子育て世帯等への支援 約2億5,000万円
- プレミアム付商品券発行事業 約1億2,000万円
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 約2億6,000万円



◎市長のタウンミーティングについて
◎少子化対策について



白井 中 議員

質問 市長のタウンミーティングで各地区から寄せられた主な意見を問う。

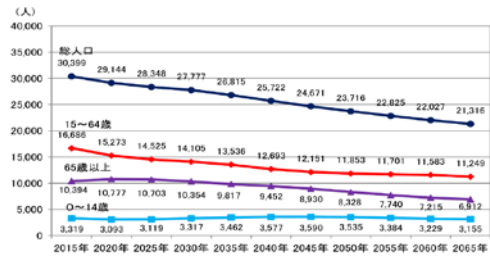
企画政策部長 近年発生している豪雪の影響もあり、消雪装置の改修、道路の修繕などの要望が特に多くあった。そのほかに、人口減少対策、中心市街地の活性化や観光の振興に対する意見もいただいた。

質問 本市の近年（直近3年間）の婚姻数と出生数の推移を問う。

民生部長 婚姻数は、令和元年128件、令和2年105件、令和3年103件と減少傾向にある。出生数は、令和元年142人、令和2年159人、令和3年143人である。

質問 年代別人口構成について問う。

民生部長 人口が最も多い年代は、第一次ベビーブームが起きた団塊の世代の70歳代で4千784人である。以下多い年代順に、60歳代4千124人、第二次ベビーブームが起きた団塊ジュニア世代と言われる40歳代3千621人、50歳代3千498人



「おやべルネサンス総合戦略」に基づく人口減少対策の推進を前提とした本市人口ビジョン（令和2年3月時点修正版）

となつている。
質問 今後、ベビーブームが去り、人口の激減を迎える20年から40年後の本市の人口推移と考えを問う。
企画政策部長 社人研の推計では20年後の本市人口は2万1千710人で、概ね40年後の2060年は1万5千100人とされている。一方で、人口減少対策、定住・移住施策を推進していくことを前提とした本市人口ビジョンでは、2040年は2万5千722人、2060年は2万2千027人と推計しており、今後も人口ビジョンに近づくよう努めていきたい。

- ◎高度利用者向け地震速報の導入
- ◎大雨時の浸水対策
- ◎小矢部市地域防災計画の見直し
- ◎レジ袋に指定ゴミ袋も利用する社会実験
- ◎公共サービスの休日や夜間対応と民間への業務委託



谷口 巧 議員

質問 高度利用者向け緊急地震速報を導入できないか。

総務部長 気象庁の高度利用者向け緊急地震速報の取り扱いに関する動向を踏まえ、活用事例を調査し、今後、本市において導入の効果が見込めるか研究していきたい。

質問 大雨時の浸水被害対策について問う。

産業建設部長 市街地において迅速かつ円滑な雨水排除を目的とした雨水幹線の整備を行ってきた。大雨時の内水氾濫に対しては、今石動町雨水ポンプ場と連携し、被害の発生を未然に防いできている。また、農村部の浸水対策として、国営農地防災事業庄川左岸地区において防災対策事業が実施されてきた。今後も雨水対策施設の適切な運用及び維持管理に努めたい。

質問 小矢部市地域防災計画の更新と簡易版を作成できないか。

総務部長 市地域防災計画の資料編は、現在、鋭意更新のため準備を進めている。

また、市地域防災計画は、その性質上、簡易版は作成しにくいと考えるが、市民の皆さんに知っておいてほしいポイントを抜粋する等、わかりやすい掲載に努める。

質問 レジ袋に指定ゴミ袋も利用する社会実験の実施を提言する。

民生部長 全国でこうした取組が増えている事実もある。まずは高岡地区広域圏事務組合と構成3市で協議し、導入する場合の課題等を整理していきたい。

質問 窓口業務の民間委託の先進事例を参考に、市民サービスの向上や業務の効率化を図れないか。

副市長 窓口サービスの在り方については、民間委託の先進事例を参考に、さらなる業務の効率化や費用対効果、市民サービスの向上など、あらゆる角度から検討を行いたい。



全国の防災対策総合ガイド（出典：神奈川県座間市）

◎少子化問題について
◎子どもを守る取り組みについて



質問 出生祝いについての見解と他自治体が実施している祝金への見解を問う。

企画政策部長 誕生お祝い事業は、記憶に残るものをと考えており、より一層喜んでもらえる内容を検討している。一時の祝金ではなく、子育て期間全体を、各種施策で支援していきたい。

質問 殖生、水島保育所に関する取組状況、今後の計画について見解を問う。

民生部長 未統合の殖生、水島、石動きらり保育施設の統廃合の必要性を検討するとして、令和5年度に市立保育所統廃合・民営化等推進委員会を開催し、大谷蟹谷こども園の統合効果の実績も含め、今後の方針について議論を進めていく。

質問 通園バスの中に置き去りにされた園児が死亡した事件を受け、安全管理についての見解を問う。

民生部長 園児の出欠状況の情報共有や人数確認を複数人で行うなど安全管理を徹底するよう公立施設及び民間施設へ注意喚起を行う

質問 たところであり、今後安心して子供を預けられる保育環境を提供していきたい。

質問 「コドモン」導入についての見解を問う。

民生部長 本年4月から公立保育施設において、保育施設業務支援システム「コドモン」の運用を始めた。業務の効率化を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために導入した。

質問 こども家庭センター設置についての見解を問う。

民生部長 こども家庭センターとして一体化して進めていくことは可能であり、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援を行うことができるよう進めていく。

質問 子ども権利条例の制定に関する見解を問う。

民生部長 子供たちの権利を保障していく方策について、他市の事例を参考に検討していきたい。

質問 出生祝いについての見解と他自治体が実施している祝金への見解を問う。

企画政策部長 誕生お祝い事業は、記憶に残るものをと考えており、より一層喜んでもらえる内容を検討している。一時の祝金ではなく、子育て期間全体を、各種施策で支援していきたい。

質問 殖生、水島保育所に関する取組状況、今後の計画について見解を問う。

民生部長 未統合の殖生、水島、石動きらり保育施設の統廃合の必要性を検討するとして、令和5年度に市立保育所統廃合・民営化等推進委員会を開催し、大谷蟹谷こども園の統合効果の実績も含め、今後の方針について議論を進めていく。

質問 通園バスの中に置き去りにされた園児が死亡した事件を受け、安全管理についての見解を問う。

民生部長 園児の出欠状況の情報共有や人数確認を複数人で行うなど安全管理を徹底するよう公立施設及び民間施設へ注意喚起を行う

質問 たところであり、今後安心して子供を預けられる保育環境を提供していきたい。

質問 「コドモン」導入についての見解を問う。

民生部長 本年4月から公立保育施設において、保育施設業務支援システム「コドモン」の運用を始めた。業務の効率化を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために導入した。

質問 こども家庭センター設置についての見解を問う。

民生部長 こども家庭センターとして一体化して進めていくことは可能であり、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援を行うことができるよう進めていく。

質問 子ども権利条例の制定に関する見解を問う。

民生部長 子供たちの権利を保障していく方策について、他市の事例を参考に検討していきたい。



殖生保育所

◎小中学校再編推進計画について
◎空き家等対策について



質問 小中学校再編推進計画について、検討を行うこととなった「小矢部市公共施設再編計画」の学校再編の基本的な考え方と平成三十年六月の小中学校統廃合審議会への諮問文とが異なっていること及び施設の総量・減量に係る事項が省かれているのは、どのような考えからか。

教育委員会事務局長 背景には公共施設再編計画の策定というところではあるが、あくまで子供たちの教育環境の在り方を諮問したものであり、施設や床面積の削減などの検討については、次の段階であるとの考えに基づいている。

質問 令和元年十二月の審議会の答申内容について、審議会で検討され、市民アンケートでも推進を望むとする結果が多かった「小中一貫教育の推進」についての検討結果が反映されていないのはなぜか。

教育委員会事務局長 小中一貫教育については、施設面積の削減には効果があると思わ

質問 小中学校再編推進計画について、検討を行うこととなった「小矢部市公共施設再編計画」の学校再編の基本的な考え方と平成三十年六月の小中学校統廃合審議会への諮問文とが異なっていること及び施設の総量・減量に係る事項が省かれているのは、どのような考えからか。

教育委員会事務局長 背景には公共施設再編計画の策定というところではあるが、あくまで子供たちの教育環境の在り方を諮問したものであり、施設や床面積の削減などの検討については、次の段階であるとの考えに基づいている。

質問 令和元年十二月の審議会の答申内容について、審議会で検討され、市民アンケートでも推進を望むとする結果が多かった「小中一貫教育の推進」についての検討結果が反映されていないのはなぜか。

教育委員会事務局長 小中一貫教育については、施設面積の削減には効果があると思わ



小中一貫校を導入している小中学校の数は合わせて1,175校、9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校は全国で151校あるとされ、年々増加しています。

一般質問

- ◎18歳までの通院医療費の無料化について
- ◎高齢者補聴器購入費用助成制度の対象者拡充について
- ◎統一協会との関係について
- ◎安倍元首相の国葬について



上田 由美子 議員

質問 18歳までの通院医療費の無料化について、高校生の保護者から「教育費の負担が重いので早期に実現してほしい。」という声がある。小矢部市は18歳までの入院費は無料であるが、通院費も無料にできないか。

市長 高校生など18歳までの医療費無料化は、システム改修を行い、令和5年度からスタートしていきたい。

質問 令和4年4月から始まった高齢者補聴器購入費用助成制度では、助成対象者が市民税非課税世帯の65歳以上の方であり、65歳以上の約81%が利用できない。本人のみが市民税非課税という要件緩和を求める。

民生部長 事業開始から間がないので、まずは実績等を十分に検証していきたい。

質問 統一協会（世界平和統一家庭連合）の関連団体「となみ野を愛し元気にする会」が主催するフォーラムを小矢部市が後援した。他にも関連団体「ピースロード富山実行委員会」を後援していたことが明らかと

なった。今後、市が反社会的団体である統一協会及びその関連団体と一切関わりを持たないことを求める。

市長 本市としては、世界平和統一家庭連合の関連団体と判明した団体とは、今後一切の関係を断つこととし、全ての部局に対し後援名義等の使用を承認しないよう指示したところである。

質問 安倍晋三元首相の国葬について、市職員や市立学校に弔意を強制しないことを求める。この国葬は憲法14条に定める「法の下の平等」と憲法19条が保障する「思想及び良心の自由」に反する。個人の葬儀を国が行う根拠は、現在の日本国憲法にはない。

市長 国葬が行われた場合に、市の職員、教員、児童生徒等に弔意表明を求めることは考えていない。



通院費の助成対象者を高校生まで拡充した場合、約970万円の費用が増額になると見込まれています。

- ◎農業の6次産業化・地域特産品の取り組みについて
- ◎グリーンツーリズム・農泊の取り組みについて
- ◎スマート農業の支援について



山田 吉晴 議員

質問 農業経営の安定化のために、六次産業化への支援が必要と考えるが、その現状と課題について問う。

産業建設部長 現状、17経営体において、農産物を用いた加工品などの販売が行われている。加工・販売施設やパッケージデザイン等に係る費用負担、市場調査や販路の確保、後継者不足などの課題があり、それぞれの経営体の課題に沿った支援を県やいなば農協など関係機関と連携し、行っていきたい。

質問 農畜産物の加工及び販売という分野は、女性が活躍しているケースが多い。男女共同参画社会の推進という観点から今後の取り組みについて問う。

産業建設部長 農産物の加工・販売などの分野では、女性の感性を生かした活躍が期待されることから、女性農業士会への運営に対する支援を継続していきたい。

質問 農業と観光の観点から、グリーンツーリズムは地域活性化につながることで

が期待される。本市でも積極的に取り組めないか。

産業建設部長 様々な体験事業を通し、本市の魅力を知ってもらうことは、移住促進や、農業の担い手確保にもつながるなど、人口減少や農業後継者の問題に対し、効果が期待できると考えている。一方で、地区住民の協力が不可欠であり、事業実施の可能性については慎重な検討が必要と考える。

質問 スマート農業の普及に関して、RTK固定基地局の整備について問う。

産業建設部長 スマート農業機械の普及は、農作業効率の向上、人材不足解消などの観点からも重要であると考えており、RTK固定基地局の設置などについて、先行事例や導入費用の調査、農業者との対話を行いながら検討していきたい。



ドローンによる防除作業の様子

RTK・・・Real Time Kinematicの略で、地上に設置した基地局からの位置情報によって高精度の測位が可能となる技術のこと。



嶋田 幸恵 議員

▼動画配信中



- ◎健康寿命延伸について
- ◎稲葉山の活性化について
- ◎花いっぱい運動花壇コンクールについて
- ◎小矢部市民交流プラザについて
- ◎指定管理者制度について
- ◎観光地の環境整備について
- ◎消防団員の今後の活動と対策について

質問 健康寿命延伸のための具体的な取組施策を問う。
民生部長 健康寿命延伸のための取組としてフレイル予防が注目されており、地域包括支援センターで昨年度から「おやべ健活ひろば」を実施している。

質問 健康遊具の設置について整備状況はどうか。
産業建設部長 綾子河川公園にストレッチ運動や筋力アップなどの運動が行える健康遊具を4基設置した。

質問 稲葉山の花壇について、植栽に参加した園芸高校の生徒に花の維持管理の協力を呼びかけてはどうか。
市長 植栽に協力していただいた皆様に少しお声をかけさせていただきたい。

質問 花いっぱい運動に対する市の支援策を問う。
産業建設部長 地域の緑化活動を推進されている花と緑の銀行小矢部支店に対し、本市予算から花壇造成や土壌改良に要する経費や各地方銀行や保育所等へ配布する花苗の購入費へ補助をしている。

質問 指定管理施設の中でも観光拠点となる施設に女性従業員を配置してほしい。
総務部長 女性視点は必要な観点であるが、具体的に募集要項等に盛り込むことはできない。おもてなしの心で接遇することは重要と認識しており、適材適所に従業員を配置するよう引き続き指導を行っていく。

質問 消防団員の今後の活動と対策について問う。
総務部長 全分団を対象に災害現場での消防資機材の基本操作、活動の基礎訓練を実施したところ、新規団員を中心に知識と技術の向上が図られたとの意見が多かった。今後、正副団長、各分団長、消防署と協議し、そのような訓練についても実施に向けて検討したい。



稲葉山山頂付近の花壇は、民間企業の地域貢献活動として小矢部園芸高校の生徒と合同で企画され、植栽されました。

一般質問

- ◎産業振興について
- ◎おやベレンタサイクルについて
- ◎宮島峡鼓ヶ滝の環境整備について



加藤 幸雄 議員

▼動画配信中



質問 小矢部市の立地を生かした企業誘致について見解を問う。
市長 本市の優位性は北陸、東海北陸、能越の三つの高速道路が交差する交通の要衝であることと認識しており、これをしっかりアピールして企業立地の実現に向けて取り組んでいきたい。

質問 国道359号の整備状況と今後の予定について問う。
産業建設部長 事業主体の県に確認したところ、現在、平桜地内の交差点改良事業を進めており、令和6年度完了を目標としている。路肩の幅員が狭い区間など道路改良については、今年度から市長が会長となった国道359号改修促進期成同盟会などを通じて要望していく。

質問 本市のレンタサイクル事業は5つの施設で取り扱われ、無料で行っているが利用頻度が少なく、見直す必要があるのではないか。
産業建設部長 レンタサイクルは導入後10年以上経過し経年劣化しており、稼働率も低いので、稼働率が低い場所は見直す必要があると認識している。有料化についても他自治体の管理体制等も参考に慎重に検討したい。

質問 宮島峡鼓ヶ滝は大変素晴らしい滝だと思いが、市長の見解を問う。
市長 鼓ヶ滝は滝に落ちる音が洞に反響して鼓のよう聞こえることから名づけられたと伝わっており、清らかな滝の流れと音色に心癒される観光地で写真映える絶好の撮影スポットであると考えている。また、滝の周辺には市指定文化財の露天磨崖仏、平安時代に岩屋堂の洞に祀られた愛染明王金像など様々な観光資源があることも鼓ヶ滝の魅力である。引き続きより多くの方に滝の景観を楽しんでいただけるようブラッシュアップを図っていきたい。



宮島峡 鼓ヶ滝

◎マイナンバーカード普及施策について
 ◎肥料高、飼料高の影響について
 ◎中学校の部活動の在り方について



中田 正樹 議員

質問 マイナンバーカードの取得率の地方交付税への反映方針について問う。

総務部長 現時点では、具体的な反映方法は示されていない。国の動向を注視し、情報収集に努める。

質問 地方交付税制度の理念からすれば間違っており、地方から声を上げるべき。

総務部長 反映の仕方によって判断すべきものと考えられる。ペナルティとしての反映ならば、それは普通交付税の趣旨とは反している。

質問 健康保険証、運転免許証の更新時に、マイナンバーを紐付けていけば合理的である。マイナポイントも広告費も、全ての経費は税金である。

企画政策部長 マイナンバーカードの交付が促進されるような連携について、国・県等へ働きかけていく。

質問 利便性、具体的なメリットが理解されていない。
企画政策部長 活用範囲は徐々に広がっている。各種証明書のコンビニでの交付等、メリットを生かせる環境整



証の明書は、小矢部市では開き、来年度から開始する。

備を進めていく。

質問 部活動の地域移行について、複数の中学校の部活動と一緒に指導する可能性もあるということか。

教育委員会事務局長 モデル事業では、合同で練習するという形態も取り入れる。

質問 送迎など保護者の負担が生じないか。

教育委員会事務局長 練習や大会の送迎等にある程度の負担が生じる。関係団体と課題を洗い出し、その対応・対策を今後検討したい。

質問 部活動を完全に外部委託した場合、大会の参加資格等で制約を受けないか。

教育委員会事務局長 平日も含め完全に地域移行され、クラブチームのようになることも想定される。その場合は大会参加資格や運営について見直されるものと考ええる。

現在、中体連等で協議中であり、関係団体と情報を共有し対応したい。

◎タウンミーティングについて
 ◎選挙投票率について
 ◎転作について
 ◎ホッケー振興について



石田 義弘 議員

質問 タウンミーティングを終えての感想と今後の進め方について問う。

市長 コロナ禍の中での開催となったが、ご出席の皆様とは有意義な時間を共有できたと思う。今後、開催をするかどうかは、今の私の立場からは申し上げることができないが、多くの市民の皆さんは市長との対話を望んでおられることには、疑いの余地はないのではと

思っている。
質問 選挙は、市民の意思を反映させるためにも大変重要である。今後の選挙に向けた投票率向上対策について問う。

総務部長 投票率の低下については、速効性のある対策を講じることは困難と考えているが、広報おやべやケーブルテレビ、広報車等を活用した啓発、成人式での選挙啓発冊子の配布などの対策を引き続き実施し、投票所や期日前投票所の設置場所の再検討、投票所への移動支援、投票済証を利用した地域の店舗等との連

携等の取組についても、先進事例や県内の状況等の調査研究を進め、本市においてどのような取組が現実的かつ有効か検討したい。
質問 ホッケー競技においては、現在全ての試合で人工芝での対応となっている。部活動の地域移行となれば活動拠点までの移動の問題も生じることから、石動高校第二グラウンドの人工芝化の検討をお願いしたい。

	小矢部市議会選挙	第26回参議院議員通常選挙【選挙区】
投票日	令和4年8月7日	令和4年7月10日
有権者数	24,535	24,733
投票数	15,690	14,419
投票率	63.95%	58.30%
前回投票率	70.39%	64.07%
前回の差	▲6.44%	▲5.77%

今年実施された選挙の小矢部市の投票率

教育長 石動高校第二グラウンドは、石動中学校の部活動やスポーツ少年団の活動にも利用させていただいており、人工芝化については石動高校ホッケー部の競技力向上、中学校やスポーツ少年団への強化にもつながることから、県・市のホッケー協会と共に今後施設設置者である県に働きかけを行っていききたい。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員
会審査の過程において、市当局に対し、
次の意見がありました。

総務産業建設常任委員会

一点目は、事業者支援について、現
在の肥料・飼料価格等の高騰を受けて
農畜産業に対して、一部支援策を講じ
られたところであるが、今後とも動向を
注視し、市内事業者へ必要な対策を講
ずること。また、発酵鶏糞等の有効活
用など、地域の特徴を活かした循環型
農業のさらなる推進に努めること。

二点目は、市ホームページの再構築
について、セキュリティ対策に万全を
期すとともに、利用者にとって使いや
すくわかりやすいホームページにする
こと。さらに、今後のデジタル技術を
活用した市民サービスの向上を見据え
たシステムを構築すること。

三点目は、防災体制の充実について
関係団体等との連携を強化し、地域に
おける総合的な防災力の向上に努め
ること。特に、不安が大きい高齢者等
の避難体制について確認するとともに、
しっかりと周知を図ること。

民生文教常任委員会

一点目は、マイナンバーカードの普
及促進について、交付率向上のため出
張申請サポートや出張申請受付は今後
も継続して実施するとともに、市内の
各団体へ積極的に呼びかけ一件でも多
くの申請に結び付くように努めること。
また、国のマイナポイント事業のカー
ド申請期限が十二月末まで延長され
たことをPRに活用するなど、より効果
的に事業を推進していくこと。

二点目は、長期化する原油価格・物
価高騰対策について、新型コロナウイルス
感染症の影響が続く中で、生活に
困窮する世帯及び子育て世帯に対し、
地方創生臨時交付金を活用した生活支
援ができないかしっかりと検討するこ
と。

三点目は、剪定枝処理機貸出事業に
ついて、ゴミの減量化対策として有用
と考えられることから、引き続き、効
果検証に取り組みながら事業を実施す
ること。また、利用者に対して処理機
使用に関する事前説明を十分に行うな
ど利用者の安全対策を徹底すること。

令和4年6月24日から令和4年9月8日まで

会務報告

年月日	件名	摘要	開催地
4. 6.27	小矢部川中流水害予防組合議会	議事 ・ 令和3年度歳入歳出決算 ・ 令和4年度予算(案)	502会議室
6.29	令和5年度重点事業要望	・ 小矢部土木事務所 ・ 高岡農林振興センター	市内、高岡市
7.1	令和5年度重点事業要望	・ 富山河川国道事務所 ・ あいの風とやま鉄道(株)	富山市
7.4	一般国道8号整備促進期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算 ・ 役員改選 ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)	高岡市
	主要地方道小矢部伏木港線改修期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算 ・ 役員改選 ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)	
7.5	国道359号改修促進期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算 ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)	クロスランド おやべ
	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算 ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案) ・ 役員選任(案)	
7.6	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び決算について ・ 役員改選(案) ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)	高岡市
7.7	令和5年度重点事業要望	・ 富山県庁	富山市
7.14	令和5年度重点事業要望	・ 北陸地方整備局 ・ 北陸信越運輸局	新潟市
7.19	議会だより編集委員会	・ 第206号発刊について	第二委員会室
7.20 ~ 21	令和5年度重点事業要望	・ 国土交通省、農林水産省、総務省、スポーツ庁、NHK、 公立学校共済組合本部及び県選出国会議員	東京都

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
7.22	国道471号整備促進期成同盟会総会	議事 ・ 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算 ・ 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)	富山市
7.28	令和5年度重点事業要望	・ 北陸農政局	金沢市
8.17	議会運営委員会	・ 令和4年9月臨時会等について	第二委員会室
8.18	小矢部市・沼田町友好姉妹都市提携20周年記念式	・ 更なる交流の発展と次世代につなぐ友好の絆をさらに深める宣言書を取り交わす	北海道沼田町
8.23	砺波地方衛生施設組合議会定例会	議事 ・ 令和3年度砺波地方衛生施設組合一般会計歳入歳出決算の認定及び副管理者の選任同意について	高岡市
8.24	砺波地方介護保険組合議会定例会	議事 ・ 令和4年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)及び認定3件	砺波市
	砺波地域消防組合議会定例会	議事 ・ 令和4年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第1号)及び認定1件	
9.6	令和4年9月臨時会	議事 ・ 議長、副議長の選挙 ・ 常任委員の選任 ・ 議会運営委員の選任 ・ 一部事務組合議会議員の選挙 ・ 監査委員の選任同意等	議場
9.7	議会運営委員会	・ 令和4年9月定例会について	第二委員会室

■ 市外からの行政施設

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(令和4年6月24日から令和4年9月8日まで)

年月日	視察来庁市町村議会(委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
4.7.29	京都府舞鶴市(会派)	7	0	・ 有害鳥獣対策について ・ ペーパーレス会議システムの運用状況について

12月定例会の日程(予定)

9日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

12日(月)

議案調査日

13日(火)

議案調査日

14日(水)

議案調査日

15日(木)

9時 議会運営委員会

16日(金)

10時 本会議(代表・一般質問)

19日(月)

10時 総合計画特別委員会

20日(火)

10時 交通観光特別委員会

21日(水)

議案調査日

22日(木)

10時 議会運営委員会

21日(水)

14時 総務産業建設常任委員会

22日(木)

10時 議会運営委員会

22日(木)

13時 全員協議会

22日(木)

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※オレンジ色の文字はケーブルテレビ及びインターネットにて生放送を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様のお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

編集後記

令和4年9月より議会だより編集委員会が広報広聴委員会に変わりました。これはこれまで以上に議会だより、市ホームページ、フェイスブックなどの議会広報を市民の皆さんにわかりやすく発行・発信するとともに、議会報告会や意見交換会など市民の多様な意見を把握する広聴活動の調査研究を行うために、委員会の所管事務を拡充し、名称変更したものです。

これからも、議会活動を市民の皆さんに分かりやすくお知らせすることを最重点におき、広報づくりなどに取り組んでまいります。皆さんのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

(広報広聴委員一同)

次回の「議会だより」は、令和5年2月の予定です。



発行 小矢部市議会 編集：広報広聴委員会

〒062-0801 富山県小矢部市本町1番1号

☎0766(07)1760(内線322) FAX0766(68)0194